

2022 年度第 2 回合同委員会議事録
(第 177 回実行委員会・2022 年度第 3 回広報委員会)

訪販化粧品工業協会

1 日 時 2022 年 11 月 11 日 (金) 13:30～15:15

2 Zoom による Web 会議

3 出席者

実行委員会 11 名

広報委員会 6 名 (兼任委員 1 名を除く)

事務局 3 名

4 議 題

○ 審議案件

(1) 「第 50 回定時総会」について

(2) 協会活動の活性化等について

(3) 会費について

○ 報告案件

(1) 2021 年特定商取引法改正法の動きについて

(2) 理事交代について

(3) 会員動向について

○ その他情報交換

・ インボイス制度への取組について

5 議事要旨

定刻となり出席確認をしたところ、事務局から本日の合同委員会の開催に当たり、「訪販化粧品工業協会実行委員会規程」(以下「規程」という。)の定めによる 3 分の 2 (10 名) 以上の出席が得られており、適法に成立している旨の報告がなされた。

次いで、実行委員長が挨拶を行った後、規程に従い議長となって議事進行に当たった。

事務局は、議長の指示により、事前に配布した資料に基づき説明を行い、大

要以下のとおりの審議・報告などがなされた。

○ 審議案件

(1) 第 50 回定時総会について

事務局より資料①に基づき、講演会講師について討議した広報委員会の議事録も交えながら、講演候補について説明した。まずは広報委員会で検討することとなった。

また、最近 3 年間開催していない懇親会を実施した場合、会場から飲料料金を改定したことにより、経費が上乘せされることが予想されることも報告した。

それを踏まえて 2023 年 6 月 21 日に第 50 回定時総会を開催することが議決された。

(2) 協会活動の活性化等について

事務局より、資料②に基づき、消費者相談研究会の開催状況や 2022 年度に開催した講習会等の開催状況について説明したところ、今後も会員にとってメリットがある情報発信の意味も含め、積極的に講習会活動を継続することが議決された。

(3) 会費について

事務局より資料③に基づいて、会員企業から寄せられた申出について説明がなされた。

委員からの意見の大要は以下のとおり。

- ・会費額が実質的に増額となるのは厳しい。これまでより高い会費を払うならば費用対効果としての訪粧協に入会しているメリットを明確に打ち出すべきではないか。
- ・今のままでは訪問販売業界は縮小傾向にある。会員数の分母を増やすために訪問販売に加えてその他の連鎖販売業者も加える等検討できないか。
- ・ワーキンググループを立ち上げて、作業してはいかがか。
- ・等級調査は今後は何年毎には実施するべきである。
- ・末端販売額、ないし売上高について調査を行った結果、必要な経費を賄いうるのか、まずは売上高調査をしなければいけないのではないか。

これらについて事務局から会費総額の減少と経費削減を行ってきた関係について別途資料によって説明し、まず売上高調査を実施してその分布を把握した上で、支出に必要な会費収入が得られる会費等級表を作成していき

い旨を述べた。

以上から、「どのような売上高の情報が必要なのか」、「どのような段取りで進めていけばいいのか」について、事務局が案を作成し、まずは、実行委員会及び広報委員会の正副委員長会議において諮ることとなった。

○ 報告案件

(1) 2021年特定商取引法改正法の動きについて

事務局より、資料④に基づき、今後整備される電磁的方法による契約書面の交付手続き等の動きについて説明した。

(2) 理事交代について

事務局より資料⑤に基づき、(株)アンズコーポレーションの山田昌良氏が書面理事会を経て新たに理事に就任したことを報告した。

(3) 会員動向について

事務局より資料⑥に基づき、2022年の入退会状況について説明した。訪販化粧品工業協会会員数は44社となる。

○ その他情報交換

委員より提案があり、インボイス制度の取組状況について、意見交換を行った。

○ 次回、実行委員会・広報委員会正副委員長会議

正副委員長の予定を確認し、ZoomによるWeb会議を1月中を目途に開催し検討する。

○ 次回、2022年度第4回広報委員会の開催について

ZoomによるWeb会議とし、1月中を目途に開催する。

以 上